

CMI 報告

復興支援 WG 活動

(第一回情報化施工
活用支援セミナー開催)

藤島 崇・椎葉 祐士

がんばろう東北!!
東日本大震災復興支援サイト
復旧・復興工事を情報化施工でお手伝い!!
～あなたの現場にビックリな情報化施工技術をアドバイスします～

情報化施工の効果
工事の短縮
人材不足の解消
夜間作業可能
検測作業の短縮
材料の消費削減

本HPは、一般社団法人日本建設機械施工協会 情報化施工委員会が運営する復興工事を支援するサイトです。

HOME
活動紹介
施工業者の皆様へ
発注者の皆様へ
つぶやき広場
各種情報コーナー
震災復興工事 CHALLENGE!! 事業
情報化施工に関するよくある質問
お問い合わせはこちら

東日本大震災に被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を心より祈り申し上げます。
私たち、一般社団法人日本建設機械施工協会 情報化施工委員会は、情報化施工を通じて災害に強い信頼性の高い事業の実現、一日も早い復興の実現を全力で支援致します。

新着情報
●「災害復興工事」に役立つ情報化施工講習会の開催報告
●震災復興工事チャレンジャー業者の募集を開始しました。
●つぶやき広場(Facebookページ)をオープンしました。
●融資制度はご存じですか?
●情報化施工を動画で見ると更新しました。

情報化施工とは?
情報化施工とは、ICT(情報化通信技術)の活用により得られた電子データを活用して高効率・高精度な施工をおこなうことで、建設工事全体の生産性向上や品質確保を図ることができます。
例えば、ブルドーザやモーターグレータをGPSや測量器等の装置を使用して制作を容易(又は支援)にすることにより、重機オペレータの操作を支援する技術です。
NETでは各種技術が登録されており、総合評価方式や工事成績評価時の加点に大きく反映される最新の技術です。

図一 東日本大震災復興支援総合サイト
http://www.jcmanet.or.jp/sekou/hukkou/index.html

1. はじめに

日本建設機械施工協会情報化施工委員会においては、復興支援ワーキングを設置し、東日本大震災の災害復興事業に情報化施工を活用することで、安全・安心できる復興事業を実現し、一日も早い復興を遂げられるよう活動を行っています。復興支援ワーキングには、情報化施工機器関連メーカー、建設機械メーカー、レンタル業者、測量業者、施工業者、ソフトウェア業者、研究機関等、幅広い企業や機関に参加していただき、ワーキング参加企業が一体となって測量業務から施工管理にいたるまで、復興事業が迅速に進むための、情報化施工の活用方法をトータルでサポートしています。

2. 主な活動内容

昨年の4月のWG設置より、以下の活動を推進しています。

①情報化施工に関する情報発信

まずは、情報化施工が復興支援の中でどのように利用できるのかを皆様に広く知って頂く必要があります。そこで、専用のホームページを開設し、活動紹介を行っています。また、ホームページ上で情報化施工の種類や効果等を分かりやすく紹介するため、動画などを活用した技術紹介を行っています。

②トータルサポート体制の整備

Facebookを通じて、情報化施工に関する疑問や質問、最新動向等を、気軽に情報交換できる仕組みを構築しています。また、情報化施工の導入や活用にあつ

情報化施工委員会

HOME
活動紹介
施工業者の皆様へ
発注者の皆様へ
つぶやき広場
各種情報コーナー
震災復興工事 CHALLENGE!! 事業
情報化施工に関するよくある質問
お問い合わせはこちら

つぶやき広場
情報化施工に対する疑問や使用した感想などを募集します。
下記Facebookページのコメント欄への記載をお願いします。

Facebookもチェック
情報化施工委員会 復興事業応援サイト
いいね!

情報化施工委員会 復興事業応援サイト
第15回復興WGが開かれました。
宮城で行う予定の「災害復興工事に役立つ情報化施工講習会」について、25を超える企業団体が集まっています！
来る5月16、17日に向

図二 情報交換サイト
https://www.facebook.com/cmiict2012

ては、本WGメンバーによるアドバイスが受けられる仕組みを構築しました。

さらに、震災復興工事で、信頼性の高い構造物を効率的に作りたい“そんな施工業者様の熱意を情報化施工で支援する”ことを目的として、情報化施工を使ってみたい施工業者様を募集し、対象の施工業者様には、情報化施工導入・実施に関するトータルコンサルティングをさせていただき、施工現場にあった機材の提案及び一部の機材を無償にて一定期間貸与する取り組みも実施しています。

③復興支援セミナーの開催

復興事業が実施される東北地方で、情報化施工機器を実際に体験・操作できるセミナーを開催し、情報化施工の活用方法や効果を体験して頂く企画を実施しています。



図-3 第1回情報化施工活用セミナー開催状況

3. 第一回情報化施工活用支援セミナー開催

宮城県岩沼市で第一回情報化施工活用支援セミナーを11月1日(木)に開催しました。本セミナーでは、現在の情報化施工に関わる多くのメーカーの製品が一堂に会し、日頃は競争している情報化施工機器を提供している各社が協力して講習会を運用するという画期的な講習会となり、来場いただいた方には各社のシステムの違いや特徴を体験・実感して頂きました。

また、前々日に仙台空港で不発弾騒ぎのハプニングがありました。当日は天候に恵まれ、官民から約50名の参加をいただきました。午前中には座学を実施、情報化施工の概要や情報化施工を実施するにあたっての必要事項、災害復興工事に活用できる情報化施工等について紹介。午後からは、実技講習に移動。今回の講習では、情報化施工機器を搭載した多数の建機を用意し、次のシステムを利用した作業を実際に体験して頂きました。

①モーターグレーダの3D MC

自動追尾 TS を利用したすき取り作業

②ブルドーザの三次元 3D MC (RTK 版)

RTK-GNSS を利用したすき取り作業

③油圧ショベル (バックホウ) の 3D MG

VRS を利用した法面整形作業

④油圧ショベル (バックホウ) の 2D MG

小規模掘削 (溝掘り) 作業

⑤ TS 出来形管理基本設計データ作成

4. 第二回情報化施工活用支援セミナー開催 (予告)

第1回は、初開催ということもあり技術紹介的な要素がメインとなりましたが、次回は現場での応用や活

用方法をメインに「復興工事に役立つ」の実現に向けた内容の充実に取り組んでおり、第二回のセミナー開催に向けた準備を実施しています。

第二回情報化施工活用支援セミナー開催予定

平成25年5月16日・17日

(カリキュラムや応募方法はHPにて掲載)

5. おわりに

本WGは、日頃は競争している企業が一丸となり、復興支援に向けて自分たちにできることをやるをテーマに活動を続けています。第1回のセミナー開催においても、参加企業の皆様には多大なご支援を頂きました。関係者の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

また、第2回以降のセミナーを含めて、単なるデモに終わることなく、復興工事での活用により一日も早い復興が実現するよう活動を続けて参りたいと考えております。今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

JCMA

【筆者紹介】

藤島 崇 (ふじしま たかし)
 (株)日本建設機械化協会
 施工技術総合研究所
 研究三部 技術課長



椎葉 祐士 (しいば ゆうし)
 (株)日本建設機械化協会
 施工技術総合研究所
 研究三部 研究員

